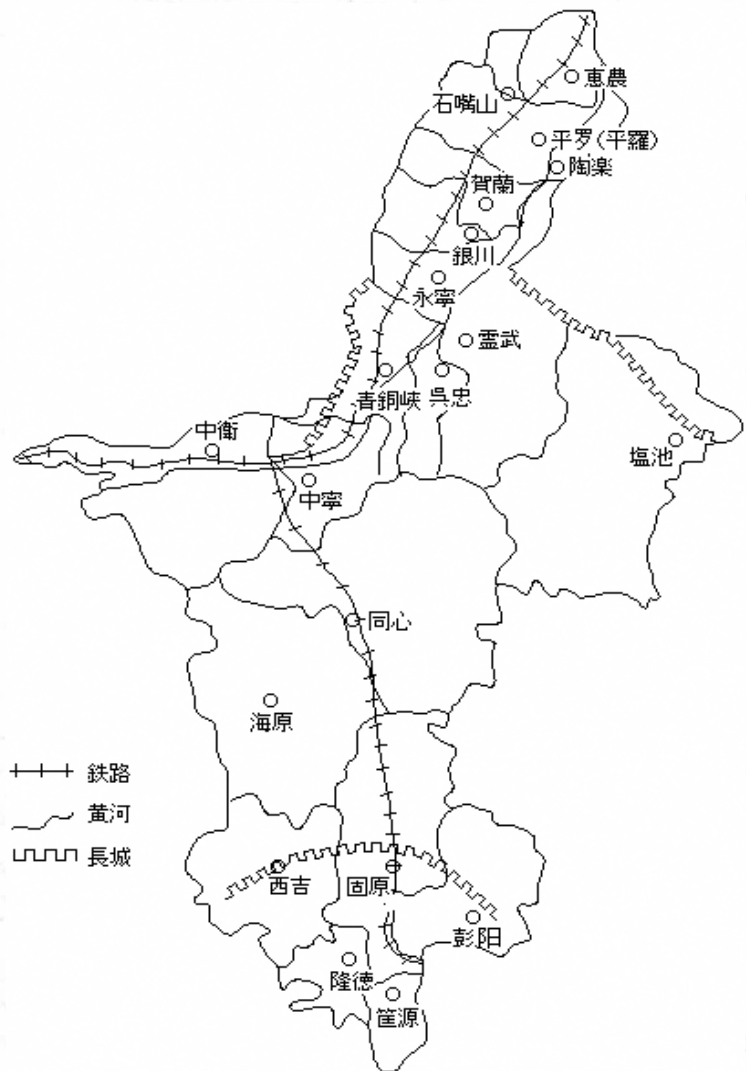


(2) 中国・寧夏回族自治区



① 寧夏回族自治区の概要

1. 面積：66,400 km²（島根県の約10倍）
2. 人口：約728.0万人（2023年10月現在）
漢族が最も多いが、少数民族も総人口の約35.95%を占め、中国国内の回族人口としては最も多い。回族とは、イスラム教を信仰する中国少数民族の一つである。
3. 区都：銀川市 常住人口 289.68万人（2022年末現在）
4. 主席：張雨浦 2022年5月～
5. 地勢：寧夏回族自治区は中国北西部に位置し、東は陝西省、北は内モンゴル自治区、西と南は甘粛省に隣接している。黄河が北部を西から北東にかけて約400km縦断し、内モンゴル自治区との境界となる賀蘭山系（最大標高3,556m）との間に肥沃な寧夏平原を形成している。南部は南に行くに従って標高が高くなり、山岳・高原地帯となっている。また、寧夏は三大砂漠（西にトングリ砂漠、東にモウス砂漠の一部、北にウランブハ砂漠）に囲まれており、砂漠化面積は総面積の24%を占めている。このため寧夏では大規模な植樹・造林や灌漑等による土地整備に力を入れている。
6. 気候：典型的な温帯大陸性気候に属し、南北の気候の違いは大きい。北部は雨が少なく乾燥しており、気温の変化も大きい。南部の六盤山地帯は湿潤で気温も低い。年間平均気温は5℃～10℃。年間降水量は約300mmである。
7. 名所：沙湖、沙坡頭、鎮北堡映画村、水洞溝遺跡、西夏陵、賀蘭山岩画、固原博物館、六盤山国家森林公园、須弥山石窟、塩池長城博物館、中衛高廟など。
8. 産業：**◆農業**
寧夏平原には1,292,000ha余りの灌漑農地が広がり、米、小麦、トウモロコシなどの穀物やスイカ、リンゴ、ブドウなどの果物の栽培が盛んである。また寧夏には3,124,000ha余りの広大な牧草地があり、牛、羊、ヤギなどの飼育も盛んである。また寧夏の独特な気候と土壌条件の上に、全国的シェアを持つ植物も栽培されている。それは、高品質のクコ・甘草などの薬用植物、賀蘭山東麓のブドウ酒醸造用のブドウ、南部山間地帯のでんぷん精製用のジャガイモなどである。
◆エネルギー産業
寧夏は、エネルギー資源が豊富で品質も優れている。特に、石炭の埋蔵量は315億tで国内6位、石膏の埋蔵量は45億tと国内トップである。また豊富な石炭、水力、石油・天然ガス、風力、太陽光エネルギーを背景に発電産業が発展しており、電力は自給して年間10数億kwの余剰分を自治区外に送電している。
◆工業
寧夏は、農業、エネルギー産業の優位を背景に石炭、電力、冶金、化学工業、製紙、医薬、食品、建材など、幅広い業種が形成されている。特に鉄合金、炭素製品、電解アルミニウム、タイヤ、工作機械、ベアリングなどは、国内でかなりの市場シェアを占めている。

② 「友好協定」調印までの経緯 【調印日：1993(H5)年10月6日】

年度	時期	内容
1990(H2)	11月	環日本海松江国際交流会議が主催するシンポジウム「日中国際交流会議～シルクロードと山陰～」(松江市)に寧夏社会科学院などの研究者6名が参加
1991(H3)	10月	浜田市友好親善訪問団など45名が「寧夏国際黄河文化節」(銀川市)に参加 丁成寧夏回族自治区外事弁公室主任を団長とする友好訪問団7名が「全国育樹祭」(大田市)に出席
1992(H4)	10月	澄田知事及び宇津県議会議長をはじめとする友好親善訪中団15名が寧夏回族自治区を訪問

年 度	時 期	内 容
1993 (H5)	6 月	程法光 寧夏回族自治区副主席を団長とする友好訪問団 6 名が島根県を訪問
	10 月	師夢雄 寧夏回族自治区秘書長を団長とする友好訪問団 13 名が島根県を訪問し 友好県区協定を調印(白立忱 寧夏回族自治区主席は急病のため欠席) 寧夏回族自治区が「しまねエキスポ'93」(松江市)に参加

③ 主な交流事業（友好県区協定調印後）

ア. 訪問団等の派遣・受入（過去 10 年）

(ア) 派 遣

年 度	時 期	人 数	概 要
2014 (H26)	7 月	3	草の根技術協力事業専門家派遣
	8 月	4	交流の翼・中国プログラム
	2 月	6	草の根技術協力事業専門家派遣
	2 月	5	出雲古代歴史博物館・寧夏博物館研究等学術活動協定書締結式典
2015 (H27)	7 月	4	草の根技術協力事業専門家派遣
	8 月	7	交流の翼・中国プログラム
	2 月	6	草の根技術協力事業専門家派遣
2016 (H28)	8 月	6	交流の翼・中国プログラム
	9 月	4	寧夏国際友好都市フォーラム出席
2017 (H29)	8 月	6	交流の翼・中国プログラム
	1 月	3	次年度交流事業協議
2018 (H30)	8 月	7	交流の翼・中国プログラム
	10 月	9	友好提携 25 周年記念式典（団長：藤原副知事）
2019 (R 元)	7～8 月	4	交流の翼・中国プログラム
2020 (R2)	※新型コロナウイルス感染症の影響により派遣中止		
2021 (R3)	7 月	3	交流の翼・中国プログラム（オンライン交流）
2022 (R4)	※新型コロナウイルス感染症の影響により派遣中止		
2023 (R5)	10 月	8	友好提携 30 周年記念式典（団長：松尾副知事）

(イ) 受 入

年 度	時 期	人 数	概 要
2014 (H26)	8 月	5	北東アジア交流の翼inしまね
	8 月	17	寧夏大学日本語学科訪問団
	9 月	4	草の根技術協力事業研修員受入
	10 月	4	寧夏回族自治区外事弁公室訪問団
2015 (H27)	8 月	4	北東アジア交流の翼inしまね
	8 月	9	寧夏大学日本語学科訪問団
	10 月	5	草の根技術協力事業研修員受入
	10 月	7	寧夏回族自治区政治協商会議訪問団（団長：齊同生主席）
2016 (H28)	4 月	6	寧夏回族自治区政治協商会議訪問団（団長：李淑芬副主席）
	8 月	4	北東アジア交流の翼inしまね
2017 (H29)	8 月	3	寧夏回族自治区外事弁公室訪問団
	8 月	4	北東アジア交流の翼inしまね
	8 月	7	寧夏大学日本語学科訪問団
2018 (H30)	8 月	5	北東アジア交流の翼inしまね
	9 月	10	友好提携 25 周年記念式典（団長：王紫雲副主席）
	11 月	49	「日中植林・植樹国際連帯事業」日中大学生五百人交流団（寧夏回族自治区分団）

年 度	時 期	人 数	概 要
2019(R元)	4月	6	寧夏回族自治区衛生健康委員会代表団
	8月	5	北東アジア交流の翼inしまね
	8月～9月	10	寧夏大学日本語学科訪問団、北方民族大学芸能団
2020(R2)			※新型コロナウイルス感染症の影響により受入中止
2021(R3)	8月～11月	3	北東アジア交流の翼 in しまね (オンライン交流)
2022(R4)	10月		※北東アジア交流の翼 in しまね：新型コロナウイルス感染症の影響により県内在住者のみで実施
2023(R5)	9月～10月		北東アジア交流の翼inしまね (前年同様に県内在住者のみで実施)
	10月	7	寧夏回族自治区民政庁訪問団
	11月	7	友好提携 30 周年記念式典 (団長：白尚成 ^{はくしょうせい} 副主任)

イ. 文化交流

- ・1994(H6)年10月、国際家族年記念事業「ふれあいファミリーフェスティバル」に寧夏から幼稚園児、小学生児童の絵画が出品される
- ・1996(H8)年5月、県民会館において「寧夏友好写真展」を開催
- ・1997(H9)年8月、寧夏で写真家同士の交流や撮影会を実施
- ・1998(H10)年5月、友好提携5周年記念事業として県内3会場(松江市、出雲市、浜田市)において「寧夏回族自治区写真展」を開催
- ・2001(H13)年11月、技能グランプリ参加に併せて松江市と安来市において写真展を開催
- ・2002(H14)年10月、「北東アジア地域子育て生活文化展」に寧夏から子育てに関する物品や情報が展示・紹介される
- ・2003(H15)年10月、友好提携10周年記念事業として県立美術館において「島根・寧夏交流写真展」を開催するとともに松江一中と県立大学において「寧夏芸術団公演」を開催
- ・2005(H17)年11月、「北東アジア国際文化パレットinしまね」事業として「寧夏歌舞団」を招致し松江市(鹿島文化ホール)、益田市(島根県芸術文化センター、ふれあいホールみと)の県内3会場で公演
- ・2008(H20)年11月「北東アジア国際文化パレットinしまね」事業として「寧夏歌舞団」を招致し松江市(島根県民会館)、浜田市(島根県立大学)の県内2会場で公演
- ・2008(H20)年11月、友好提携15周年記念事業として県民会館において「寧夏回族自治区写真展」を開催
- ・2013(H25)年9月、友好提携20周年記念事業として古代出雲歴史博物館において「寧夏岩画展」を開催(6日間の観覧者総数：4,712人)
- ・2013(H25)年11月、友好提携20周年記念事業として県民会館において銀川芸術劇院による回族劇「月上賀蘭」を開催(観客数：約1,100人)
- ・2018(H30)年4月、友好提携25周年記念事業として県立美術館において「島根・寧夏記念写真展」を開催
- ・2018(H30)年9月、友好提携25周年記念事業として島根大学総合博物館において「島根・寧夏記念写真展」を開催
- ・2018(H30)年12月、友好提携25周年記念事業として島根県立図書館において「島根・寧夏記念展示」を開催

ウ. 教育・学術交流

(ア) 島根大学の交流

- ・1997(H9)年8月、島根大学と寧夏大学が交流協定を締結し短期留学生の受入を開始
- ・2004(H16)年2月、寧夏医学院と交流協定を締結し研究者の受入を開始
- ・2004(H16)年3月「島根大学・寧夏大学国際共同研究所」を開所

- ・2005(H17)年9月、寧夏大学構内に「島根大学・寧夏大学国際共同研究所」研究棟が完成
- ・2013(H25)年10月、島根大学・寧夏大学国際共同研究所内に日本・島根県に関する資料を集めた「図書室」を開設
- ・2014(H26)年11月、島根大学・寧夏大学国際共同研究所設立10周年記念式典、2014(H26)年度日中国際学術セミナー(第12回)を島根大学で開催

(イ) 島根県立大学の交流

- ・2001(H13)年6月、島根県と寧夏回族自治区の間で留学生受入に関する協定を締結
- ・2002(H14)年4月、寧夏大学から留学生の受入を開始
- ・2004(H16)年10月、県立大学と寧夏大学が交流協定を締結

(ウ) 島根大学教育学部附属義務教育学校の交流

- ・2021(R3)年3月、島根大学教育学部附属義務教育学校前期課程と寧夏回族自治区銀川第21小学校がオンライン交流を実施
- ・2022(R4)年3月、島根大学教育学部附属義務教育学校前期課程と寧夏回族自治区銀川第21小学校の児童がビデオ交換による交流を実施

(エ) 疫学調査に関する共同研究〔1997(H9)～1999(H11)〕

衛生公害研究所(現保健環境科学研究所)と寧夏の研究機関が、寧夏回族自治区におけるペスト流行地及び病原性エルシニアの分布と生態について共同調査を実施。

(オ) 大気汚染及び黄砂に関する共同研究〔1997(H9)～2000(H12)〕

衛生公害研究所(現保健環境科学研究所)と寧夏環境保護局が、大気汚染及び黄砂現象の実態把握と構造解明に向けて共同研究を実施。

(カ) その他の学術交流

- ・1996(H8)年8月、寧夏大学教授による「西夏文字研究に関する講演会」を開催
- ・1997(H9)年6月、中国中央民族大学教授による「中国少数民族に関する講演会」を開催
- ・2000(H12)年8月、能海寛中国訪問100年を記念して寧夏において「能海寛研究会」を開催
- ・2001(H13)年1月、国内講師を招き文化講座「寧夏回族自治区の古代文化とシルクロード」を開催
- ・2003(H15)年10月、環日本海松江国際交流会議のシンポジウムを「寧夏の歴史と文化」をテーマに開催
- ・2015(H27)年2月、県立出雲古代歴史博物館と寧夏回族自治区博物館が研究等学術活動の協力に関する協定を締結

(キ) 教育・スポーツ交流

- ・1995(H7)年8月、島根県高校生登山調査隊が寧夏において登山やスポーツなどの交流活動を行う
- ・1995(H7)年8月「島根県青少年海外協力体験事業」((財)しまね国際センター主催)の一環として高校生が寧夏においてホームステイ交流等を行う(～1998(H10)年8月まで計4回実施)
- ・1997(H9)年8月、北京で開催された「日中国交25周年記念ジュニア卓球大会」に島根と寧夏の高校生による合同チームが出場
- ・2002(H14)年8月、北京で開催された「日中国交正常化30周年記念・日中友好都市中学校卓球大会」に島根と寧夏の中学生による合同チームが出場
- ・2007(H19)年8月、北京で開催された「日中国交正常化35周年記念・日中友好都市小学生卓球大会」に島根と寧夏、島根と吉林の小学生による各合同チームが出場
- ・2012(H24)年8月、北京で開催された「日中国交正常化40周年記念・日中友好都市小学生卓球大会」に松江市と銀川市、松江市と吉林の小学生による各合同チームが出場

エ. 経済交流

(ア) コンピュータソフト開発に係る技術提携

1994(H6)年9月、県内企業と寧夏康迪特電腦技術会社が技術提携し、コンピュータソフト開発につい

て合作事業を推進。

(イ) 放送局間の友好提携

1994(H6)年6月、県内民間放送と寧夏電視台が友好協定を締結し、番組交換や海外技術研修員受入を実施。

(ウ) 木質製品開発・販路開拓プロジェクト

- ・2004(H16)年6月、県西部の木材関連企業24社が寧夏への木質製品販売を目的に「木質製品開発・販路開拓プロジェクト」を立ち上げる
- ・2004(H16)年7月、寧夏において第1回市場調査(家具工場、マンション視察)を実施
- ・2005(H17)年2月、第2回市場調査(政府・企業関係者への日本家屋・内装、木製品のプレゼンテーション)を実施
- ・2005(H17)年6月、現地企業オフィス内において内装材施工テストを実施
- ・2006(H18)年3月、現地リゾート開発区内の日本庭園内に日本家屋を建築

(エ) 水環境ビジネス

- ・2011(H23)年3月、産業振興課地域産業創造グループによる現地視察
- ・2012(H24)年6月、JICA草の根技術協力事業専門家派遣に併せ水ビジネス研究会による現地市場調査を実施
- ・2013(H25)年6月、JICA草の根技術協力事業専門家派遣に併せ県内企業が現地市場調査を実施

オ. その他

(ア) 緑化協力事業

1997(H9)年7月に島根県と寧夏回族自治区が「島根・寧夏友好林」造成に関する協議書を締結した。

2001(H13)年11月に第二次の協議書を締結し、2009(H21)年度までに合計7.6ヘクタールの友好林造成を行った。

1998(H10)年5月からは、毎年、県民ボランティア(日中友好国際協力活動島根県民交流団)が寧夏を訪問し、友好植林活動や文化・スポーツ交流等が続けられていたが、2011(H23)年を区切りとして島根県民交流団の活動は中止された。

2013(H25)年からはNPO日本・寧夏友好交流協会が植林活動を開始し、2018(H30)年に終了。

日中友好国際協力活動島根県民交流団の寧夏派遣状況

NO.	年度	時期	参加者数	NO.	年度	時期	参加者数
1	1997(H9)	6月	120	11	2007(H19)	6月	20
2	1998(H10)	5月	74	12	2008(H20)	10月	30
3	1999(H11)	6月	124	13	2009(H21)	6月	13
4	2000(H12)	5月	107	14	2010(H22)	6月	16
5	2001(H13)	6月	136	15	2011(H23)	6月	23
6	2002(H14)	6月	91	16	2013(H25)	10月	30
7	2003(H15)	9月	42	17	2014(H26)	6月	4
8	2004(H16)	7月	61	18	2015(H27)	6月	39
9	2005(H17)	6月	64	19	2016(H28)	10月	4
10	2006(H18)	6月	93	20	2017(H29)	6月	13
				21	2018(H30)	10月	17

(イ) 草の根技術協力事業

「寧夏回族自治区における下水道汚泥総合利用技術の確立」を支援するため、JICA(国際協力機構)の草の根技術協力事業を活用して2007(H19)年度から3か年の計画で、下水道汚泥の減容化・無害化・資源化のための技術協力(専門家派遣、研修員受入)を行った。

- ・2007(H19)年9月、専門家2名(下水道行政技術者)を寧夏に派遣
- ・2007(H19)年10月、技術者2名(污水处理有限公司職員)を受入
- ・2008(H20)年6月、専門家2名(下水道行政技術者)を寧夏に派遣

- ・2008(H20)年9月、専門家3名（下水道行政技術者・土壤環境研究員）を寧夏に派遣
- ・2008(H20)年11月、技術者4名（污水处理有限公司職員・土壤環境研究員）を受入
- ・2009(H21)年7月、専門家3名（下水道行政技術者・土壤環境研究員）を寧夏に派遣
- ・2009(H21)年10月、技術者3名（政府職員・土壤環境研究員・污水处理有限公司職員）を受入
- ・2010(H22)年1月、専門家2名（下水道行政技術者・土壤環境研究員）を寧夏に派遣

「寧夏回族自治区農村部等での污水处理・汚泥・家畜糞尿有効活用」を支援するため、JICA（国際協力機構）の草の根技術協力事業を活用して2010(H22)年度から3か年の計画で、小規模污水处理の技術と汚水汚泥・家畜糞尿の減容化・無害化・資源化のための技術協力（専門家派遣、研修員受入）を行った。

- ・2010(H22)年8月、専門家2名（下水道行政技術者）を寧夏に派遣
- ・2010(H22)年10月、技術者4名（政府職員2名・畜産事業者・污水处理有限公司職員）を受入
- ・2011(H23)年7月、専門家4名（下水道行政技術者2名、畜産酪農環境研究員、土壤環境研究員）を寧夏に派遣
- ・2011(H23)年11月、技術者4名（政府職員・大学研究者・污水处理有限公司職員・堆肥製造事業者）を受入
- ・2012(H24)年6月、専門家2名（プロジェクトリーダー、下水道行政技術者）を寧夏に派遣
- ・2012(H24)年11月、技術者5名（政府職員・大学研究者・污水处理有限公司職員2名・堆肥製造事業者）を受入

寧夏回族自治区での都市部及び農村部を包括した循環型水環境の改善を進め、愛伊河流域全体の水環境の改善を図るため、JICA（国際協力機構）の草の根技術協力事業を活用して2013(H25)年度から3か年の計画で『流域管理計画』の策定技術及び愛伊河の体系的な水環境改善技術習得のための技術協力（専門家派遣、研修員受入）を行っている。

- ・2013(H25)年1月、専門家3名（プロジェクトリーダー、畜産酪農環境研究員、土壤環境研究員）を寧夏に派遣
- ・2013(H25)年6月、専門家1名（プロジェクトリーダー）を寧夏に派遣（県内企業担当者が市場調査として同行）
- ・2014(H26)年1月、専門家4名（プロジェクトリーダー、河川管理技術者、污水处理技術者2名）・業務調査員を寧夏に派遣
- ・2014(H26)年7月、専門家1名（プロジェクトリーダー）・業務調査員を寧夏に派遣
- ・2014(H26)年9月、技術者4名（政府職員4名）を島根で受入
- ・2015(H27)年2月、専門家5名（プロジェクトリーダー、河川管理技術者、道路管理技術者、畜産酪農環境研究員、土壤環境研究員）・業務調査員を寧夏に派遣
- ・2015(H27)年7月、専門家3名（プロジェクトリーダー、土木管理技術者2名）・業務調査員を寧夏に派遣
- ・2015(H27)年10月、技術者5名（政府職員5名）を受入
- ・2016(H28)年2月、専門家5名（プロジェクトリーダー、畜産酪農環境研究員、土壤環境研究員、土木管理技術者2名）・業務調査員を寧夏に派遣

(ウ) その他

- ・1998(H10)年9月、民間団体が寧夏大学に書籍を寄贈
- ・1998(H10)年11月、松江市乃木公民館が寧夏に小学校を建設するため募金活動を行う
- ・1999(H11)年10月、松江市乃木公民館の募金活動により寧夏に小学校2校が竣工
- ・1999(H11)年10月、民間団体が寧夏大学に書籍を寄贈
- ・2006(H18)年6月、日中友好国際協力活動島根県民交流団が寧夏の小中学校に地球環境の尊さをつづった故坪田愛華作の絵本『地球の秘密』中国語版一万冊を寄贈